

8月臨時
町議会

町教育委員に 林正一郎氏、越川浩一氏を再任

8月24日に臨時町議会が開催され、平成11年9月1日をもって任期満了となる横芝町教育委員、林正一郎氏（66歳Ⅱ三島）と越川浩一氏（64歳Ⅱ東町）が引き続き教育委員に任命されることになりました。



教育長に越川浩一氏を任命

8月25日に開かれた教育委員会議で、越川浩一氏が教育長に任命されることになりました。

担い手のはぐくむ教育環境作り

横芝町教育長 越川浩一



この度、町長はじめ議会の皆様方のご高配を賜り、教育委員にご推挙をいただき県教育委員会の承認のもと三期目の教育長をお引受けすることになりました。多くの皆様から寄せられたご指導とご鞭撻を糧に、二十一世紀を目前にした教育改革という大きなうねりの中を進んでまいりたいと思います。

「生きる力」をキーワードとする教育改革は、多くの論議を尽くしながら、二〇〇二（平成十四）年の完全実施に向けて、各学校の実践段階へ移されることになりました。

これからの学校教育は、社会に開かれた存在であること、学校が常に地域や家庭と一体となって運営され、児童・生徒が自ら学び、考える力を培い豊かな心をはぐくみ、生き抜いていくことが期待されています。

日本の学校教育は、先進諸国にキャッチアップする段階が終わり、それらの国と同様に、自らの経験に基づいて今後の進路を切り開いて行かねばならない段階に入ったからです。

今回の学習指導要領の改訂は、戦後の大きな境目となる性格を持っています。

「学校の在り方」を根本的に変えるような内容が認められ、完全学校週五日制の実施、総合的な学習時間の創設、学校での教育課程編成における自由裁量の拡大、教科内容と授業時数の削減、学校開放による、教師、保護者、地域住民等の分担、協力の強化であります。

改訂の基本方針は、豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する、ゆとりある教育活動を展開する中で、基礎、基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育、創意工夫を生かし特色のある教育、校長先生を中心として全教職員による主体的な学校づくりが改訂の趣旨でありますので、実践して行きたいと思っております。

横芝町では、中学校建設問題がクロージアアップされています。将来の町の担い手である子供たちの学び舎、教育環境の充実が最も重要でありますので、生涯学習社会に向けた複合的施設の建設を考えて行きたいと思っております。

就任にあたり、實川町長始め、議会議員の皆様方、諸先輩の方々、町民各位にご指導、ご協力を心からお願ひ申し上げます。ご挨拶と致します。